



万引き対策を話し合う過去最大規模の会議

3月9日 14時03分

繰り返される万引きの対策について、全国の小売り業者や警察など関係者が集まって話し合う過去最大規模の会議が都内で開かれました。

会議は全国万引犯罪防止機構が開いたもので、小売り企業や警察の担当者など、万引き対策の会議としては国内で過去最大規模となるおよそ450人が参加しました。

会議では、万引き対策が進んでいるアメリカから大学の研究者や小売り企業の担当役員などが招かれ、講演を行いました。

このうち、フロリダ大学のリード・ヘイズ教授は、アメリカではウォルマートやターゲットなど大手小売りチェーンを含む40を超える小売り業者と警察、それに大学の研究者などが全米各地の万引きに関する詳細な情報を共有する仕組みが確立されていて、その情報に基づいて対策が協力して立てられていることなどを紹介しました。

参加した小売り企業の担当者は「万引きは小売り業にとって大きな課題なので、アメリカのように事業者や警察、それに研究者などが協力した組織を結成して対応していく必要があると思う」と話していました。

全国万引犯罪防止機構の竹花豊理事長は「この会議をきっかけに関係機関の協力体制を強固にして、万引きを根絶させたい」と話していました。